

平成 21 年度 財団法人 J K A 補助事業

1. 事業名

平成 21 年度

青少年の創造性開発及び知的財産に関する普及啓発等補助事業

2. 事業の目的

知的創造の担い手となる青少年を対象とした創意工夫活動の支援及び国際交流を行うとともに、中小・ベンチャー企業を支援する知的財産専門人材の育成等を行い、もって機械工業の振興に寄与する。

3. 実施事業

①青少年等の創造性開発育成

4. 実施内容

(1) 実施内容

①青少年等の創造性開発育成事業

i) 創造性開発育成に関する取組み

全国の少年少女発明クラブにおいて創意工夫活動を行うため必要な工作資材等を提供し、青少年の自由闊達な想像力を源とした創意工夫活動を通じてモノづくりの楽しさと科学的な考え方、発明工夫の重要性等について啓発を図った。

ii) 少年少女発明クラブ全国会議の開催等

全国の少年少女発明クラブの運営及び指導に携わる関係者が一堂に会し、活動成果の普及・還元を図ることを目的とした全国会議を以下のとおり開催した。

開催日：平成 21 年 11 月 13 日（金）～ 14 日（土）

場所：ダイワロイネットホテル和歌山（和歌山県和歌山市）

参加人数：193 名

内容：発明クラブによる新たな取組み紹介『地域アイデア創作教室』、『全員参加の投票コンテスト』、及び各クラブのオリジナル作品介绍を通して、意見交換、討議等を行った。また、平成 22 年度新事業構想として『全国少年少女チャレンジ創造コンテスト』の紹介、意見交換を行った。

iii) 2009 少年少女発明クラブ創作展

開催日：平成21年11月14日（土）～15日（日）

場所：和歌山ビックホール（和歌山県和歌山市）

作品数：73点

内容：全国の少年少女発明クラブの代表作品と同クラブの活動状況を紹介した。なお、2日目には、当協会総裁常陸宮殿下同妃殿下の御臨席を賜り、多数の来賓の方々とともに作品をご観覧された。

iv) 研修会

少年少女発明クラブ指導員の資質の向上を図るため、地域ブロック別に研修会を開催するとともに、都道府県別研修会を全国各地で開催し、各クラブにおける活動状況等の報告、効果的な指導方法等に関する意見交換を行った。当該研修会に参加した人数は以下のとおり。

・地域ブロック別研修会

東北ブロック：80名（5月25日～26日 岩手県一関市）

関東ブロック：27名（6月10日～20日 東京都港区）

中国ブロック：34名（7月15日 鳥取県鳥取市）

近畿ブロック：30名（7月21日 大阪府大阪市）

四国ブロック：30名（8月4日 徳島県徳島市）

北海道ブロック：26名（8月6日～7日 小樽市）

九州ブロック：33名（11月6日 宮崎県都城市）

・都道府県別研修会

富山県：15名（4月17日・富山市）

山形県：18名（5月7日・新庄市）

愛知県：39名（9月16日・豊田市）

福島県：9名（10月24日・白河市）

秋田県：12名（12月11日・潟上市）

和歌山県：16名（2月5日・有田市）

群馬県：12名（2月18日・前橋市）

北海道：20名（2月20日・札幌市）

千葉県：14名（3月11日・千葉市）

v) アイデア創作教室

発明クラブの活動の一環として「現実に起こっている地域社会の課題」を題材とした創作教室を実施した。また、成果物であるアイデア作品を地域イベント等に展示し、更にクラブ員が見学者等の一般市民にアイデアを発表して子どもでも地域社会に貢献できることをアピールした。あわせて発明・工夫に対する意識醸成を図った。

・三島少年少女発明クラブ :

開催日 : 8月7日～9日

テーマ : 「三島ブランド ぼくたちのみしまコロッケ」

講師 : 渡邊忠彦講師

参加者 : クラブ員 (21名)、指導員 (4名)、保護者 (4名)、
自治体等 (4名)

・三豊市少年少女発明クラブ :

開催日 : 7月31日～8月1日、9月5日、9月21日

テーマ : 「三豊の課題にチャレンジしよう」

講師 : 吉谷達嗣講師

参加者 : クラブ員 (21名)、指導員 (4名)、保護者他 (18名)
自治体等 (6名)

・富岡少年少女発明クラブ :

開催日 : 8月11日～12日、11月22日

テーマ : 「まゆ玉を使って富岡製糸場を有名にしよう」

講師 : 吉谷達嗣講師

参加者 : クラブ員 (13名)、指導員 (4名)、自治体等 (2名)

vi) 広報活動

少年少女発明クラブの活動報告や創作事例等を紹介するパンフレット「少年少女発明クラブニュース」を計6回発行し (No. 226～231)、同クラブ、全国の科学館・教育関係機関等に配布した (奇数月発行、発行部数2万部/回)。また、広く一般に向けて同クラブの活動成果の周知普及を図るため、当協会ホームページにWeb版クラブニュースを掲載した。